

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年1月31日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	株式会社前田鉄工所長野工場の既存照明機器から LED 照明機器への更新による CO2 削減事業
承認番号	KC1323
排出削減事業者名	株式会社前田鉄工所
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：八十二リース株式会社)
事業実施場所	株式会社前田鉄工所長野工場 長野県須坂市大字豊丘1385-1
事業の概要	株式会社前田鉄工所長野工場の既存照明機器からLED照明機器へ更新することにより省エネルギー推進及びCO2排出削減を図る。
排出削減量の計画	<b>【限界電源CO2排出係数の場合】</b> 2012年度：45 tCO2 2013年度：101 tCO2 2014年度：98 tCO2 2015年度：97 tCO2 2016年度：97 tCO2 2017年度：97 tCO2 2018年度：97 tCO2 2019年度：97 tCO2 2020年度：54 tCO2 (事業実施期間合計 783 tCO2) <b>【全電源CO2排出係数の場合(参考値)】</b> 2012年度：79 tCO2 2013年度：105 tCO2 2014年度：102 tCO2 2015年度：97 tCO2

	2016年度：97 tCO2 2017年度：97 tCO2 2018年度：97 tCO2 2019年度：97 tCO2 2020年度：54 tCO2 （事業実施期間合計 825 tCO2）
クレジット認証期間	開始日 2012年 10月 22日 終了予定日 2020 年10月21日
排出削減方法論	方法論番号006「照明設備の更新」

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2017年10月21日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	286tCO2 (2015年4月1日 ～ 2017年10月21日)
-------	--------------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 LED照明設備稼働時間の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 LED照明設備稼働時間の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 LED照明設備稼働時間の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認

	<p>LED照明設備稼働時間の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用） Ver.2.9 により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認  排出削減量の算定結果をLED照明設備稼働時間の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2015年4月1日から2017年10月21日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年10月21日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 138.7kL、熱量換算 5,376.1Gであることを確認した。

排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量については該当がないことを確認した。

以上